

保護者の皆様へ

篠山市立丹南中学校  
校長 田端 俊典

## 平成28年度 学校評価に係るアンケートの結果

- ★ 保護者と生徒の間で共通している質問項目の中でいくつかを抽出してご紹介します。
- ★ 表の中の「生徒」は全校生を意味し、「保護者」は全校生の保護者（アンケートに協力いただいた保護者）を意味します。

## 【項目1】

生徒「学校へ行くのが楽しい」  
保護者「子どもは楽しく学校に行っている」

選択肢	生徒 (%)	保護者 (%)
①よくあてはまる	41.2	41.7
②少しあてはまる	42.2	50.0
③あまりあてはまらない	13.9	7.5
④全くあてはまらない	2.7	0.4
⑤わからない	0	0.4
①+②の合計「あてはまる」	83.4	91.7
③+④の合計「あてはまらない」	16.6	7.9

## 【考察】

8割以上の生徒が楽しい学校生活を送っていると思われます。

また、保護者の回答も非常に肯定的であるといえます。

学習や部活動、学校行事など、やりとげた達成感をもたせることで充実した学校生活となり、『楽しい』と言えると思います。

今後は全くあてはまらないと答えた生徒に着目し、生徒理解を進め、教育相談等を密に実施するなど、よりきめ細かい指導を行います。

## 【項目2】

生徒「授業はわかりやすい」  
保護者「学校はわかりやすい授業に努めている」

選択肢	生徒 (%)	保護者 (%)
①よくあてはまる	21.0	8.4
②少しあてはまる	66.4	56.4
③あまりあてはまらない	10.2	16.8
④全くあてはまらない	2.4	0.8
⑤わからない	0	17.6
①+②の合計「あてはまる」	87.4	64.8
③+④の合計「あてはまらない」	12.6	17.6

## 【考察】

87%の生徒が肯定的に捉えています。研究授業や新学習システムの活用により『自ら学ぶ授業』をめざして取り組んでいます。予習動画の配信が定着しつつあり、授業が活発になる等予習の効果も見られます。今後も『自ら学ぶ授業』を展開し、学力向上を図るために、授業改善やICTの活用の工夫等をしていきます。

## 【項目3】

生徒「社会のきまりについて教えてもらっている」  
保護者「社会のルールやマナーなどについての指導を行っている」

選択肢	生徒 (%)	保護者 (%)
①よくあてはまる	52.3	19.4
②少しあてはまる	41.9	60.4
③あまりあてはまらない	4.8	9.9
④全くあてはまらない	1.0	1.6
⑤わからない	0	8.7
①+②の合計「あてはまる」	94.2	79.8
③+④の合計「あてはまらない」	5.8	11.5

## 【考察】

9割以上の生徒が肯定的な回答です。保護者の回答も17%向上しています。生きていく基盤となる社会のルールやマナーについて、今後も継続的な取り組みをしていきます。

また、身に付けた力を実生活で実践していけるように、学校生活全体で、様々な場面を通して道徳性の育成に努めていくことが必要と考えます。

【項目4】

生徒「先生は悩みや不安に親身になって相談にのってくれる」  
保護者「子どものことについて学校に相談しやすい」

選択肢	生徒 (%)	保護者 (%)
①よくあてはまる	33.4	15.7
②少しあてはまる	45.9	48.5
③あまりあてはまらない	15.3	24.8
④全くあてはまらない	5.4	3.5
⑤わからない	0	7.5
①+②の合計「あてはまる」	79.3	64.1
③+④の合計「あてはまらない」	20.7	28.3

【考察】

肯定的に捉えた生徒が80%に達していませんが、担任と生徒の個人ノートの深化、個別相談の拡充等、生徒観察により努めて、教育活動にあたっています。保護者からの回答が昨年より8%下降しています。保護者の方々とも、連絡、連携を密にして、懇談会等を充実させ、意見交換が出来る機会をつくっていきます。また、個別の相談にものりやすいように複数担任制も継続していきます。

【項目5】

生徒「規則正しい生活を心がけるよう教えてもらっている」  
保護者「学校は規則正しい生活を心がけるよう指導している」

選択肢	生徒 (%)	保護者 (%)
①よくあてはまる	33.0	22.4
②少しあてはまる	49.5	57.6
③あまりあてはまらない	15.8	11.2
④全くあてはまらない	1.7	0.4
⑤わからない	0	8.4
①+②の合計「あてはまる」	82.5	80.0
③+④の合計「あてはまらない」	17.5	11.6

【考察】

保護者回答が昨年より14%ほど下降しています。2学期の学級懇談会が親子学習会で実施できなかった等、保護者と意見を交わす場が少なかったことや、学校からの啓発の工夫等が考えられます。今後は、学校と家庭が連携をして、子どもの日々の生活を見つめ、よりよい方向に伸ばしていけるよう取り組みます。

【項目6】

生徒「学校は活動しやすい環境が整っている」  
保護者「学校は子供たちが活動しやすい環境を整えている」

選択肢	生徒 (%)	保護者 (%)
①よくあてはまる	18.8	10.4
②少しあてはまる	47.2	57.8
③あまりあてはまらない	25.3	18.7
④全くあてはまらない	8.7	2.4
⑤わからない	0	10.7
①+②の合計「あてはまる」	66.0	68.2
③+④の合計「あてはまらない」	34.0	21.1

【考察】

学校の大規模改修により、教室の移動があったり、工事の音がしていたり等ありましたが、落ち着いて生活していました。

学習環境面においては、空き教室を教科室やICT教室に位置づける等の工夫を今後も行っていきます。

《次年度への志向》

本アンケートの結果を踏まえて、次年度は、『自ら学ぶ授業』の充実に向けた取組を行っていきます。動画を活用し予習を中心とした学習形態をさらに深化させ、生徒による生徒のための授業が展開できるように取り組みを進めていきます。

また、『自ら考え行動できる』生徒の育成を目指し、生徒会を中心に、自治的活動の充実を図り、ボランティア活動の推進を行い、道徳的実践力を高めていきます。また、『自分のことは自分で行う』あたりまえのことが当たり前できるようにしていきます。さらに、地域教材の発掘等、保護者のみなさんや地域の力をお借りしながら、学校教育目標の実現に邁進して参ります。生徒たちにとって大切なことは、学校とご家庭が同一歩調であることと考えます。どうか、ご理解・ご協力を頂きますようよろしくお願いいたします。